

## 2年1組「オレンジ色の木のみ」 内容項目 - 規則の尊重

### 【あらすじ】

子鹿のマーくんたちは「約束は守らなければいけない」と分かってはいたが、心の弱さなどから守れず、秋になっても楽しみにしていた木の実がなかった。

### 【授業から】

最初は子鹿のマーくんだけが食べてはいけないと言われていたやわらかい葉を（少しだから大丈夫）との思いで食べてしまったマーくんの気持ちを考えました。その後、だんだんマー君の友達までやわらかい葉を食べるのが広がってしまいました。なぜ友達も食べてはいけないことはわかっていたのに食べてしまったのかに注目しました。そのお話の中ではその年の山の木の実の一つもなかったことを確認した後に、ワークシートでなぜ約束や、きまりがあるのかを考えました。

### 【なぜ約束やきまりがあるのか？】

- ・みんなのしあわせと楽しみだから。
- ・まわりがこまってしまうから。・きまりがないとすきかっさにされるから。
- ・おとしよりや赤ちゃんをうむお母さんたちがこまるからきまりがある。
- ・自分がこまらなくてもほかの人がいやな思いをしたり、こまったりするからきまりがある。



じっくり悩みます・・・

## 2年2組「きらきらみずき」 内容項目 - 個性の伸長

### 【あらすじ】

みずきは、きらきらして見える友達に比べて、自分にはよいところがないと思う。転んだ友達を保健室に連れて行き、先生や友達から自分のよいところを聞いて心温かくなる。お母さんもみずきのよいところについて話す。

### 【授業から】

主人公のみずきを通して、子どもたちが自らの生活や生き方について考えを深められるようにしました。みずきが自分のよさに気付かない時と、気付いたときの思いを比べて考えました。自分のよさを友だちや保健の先生、母親との関わりの中で気付いたことにも注目してみました。ワークシートでは、保健室で自分のよいところを教えてもらった時、みずきはどんな気持ちになったのか考えました。

### 【学習感想】

- ・自分にもいろんなことができるのだと思った。
- ・みんな一人一人よいところがあるのだと思った。
- ・友だちからよいところを言われたから、今度はわたしが友だちのよいところをたくさん見つけてあげようと思った。
- ・心があたたかくなった。



ワークシートに取り組み中